

おとずれ

45

とうり
発行：跡見校友会 桃李の会
〒112-8629
東京都文京区大塚1-5-9
TEL 03(3941)2742
FAX 03(3941)2587
E-mail : tohri-kai@atomi.ac.jp

跡見純弘先生の思い出

幹事長

萬葉 洋子



桃李の会の皆様
お変わりなくお
健やかに過ごさ
れたいと存じます。

この度は昨年七月十二日にご逝去(享年九十五歳)されました顧問跡見純弘様との思い出をお話したいと思います。一九九五年に副幹事長就任の折に初めてお目にかかりました。当時は理事長で、若々しく素敵なスーツを着こなすダンディな紳士と今でも記憶しております。その後、幹事長になりお話しする機会も回数を増し、東海(旧名古屋)支部会、関西支部会にもほぼ皆勤に近いご参加で私達もとても嬉しく記念写真をおもい浮べております。又、お若い頃肺結核を患われた時もタバコを喫煙し続けた武勇伝や、個人的には私が幾つまで運転が続けられるか不安になり、もう新車は買えないと、相談しましたら「お買いなさい！」奥様は八十代で運転をされているので頑張るよう励まされました。常に時代の先を見据え、事を成しとげ、レジネスマンとしても学園経営においても第線を歩み続けた流人生で、すべての人のあこがれの方と、改めて痛感いたしました。永きにわたり御指導下さり「ありがとうございしました」そして「さようなら」 合掌

桃李の会も来年二〇一九年には七十周年を迎え、七月十三日(土)に「ニューオオタニ」にて記念同窓会を開催のはごびとなりました。詳細は別紙ちらしを参照の上皆様お揃いでご出席お待ちしております。会の運営も財政面等と数年で閉会と考えるのでは、記念同窓会も来年が最後になるのでは、と思っております。今後共、桃李の会をご支援よろしくお願いいたします。

七〇周年記念同窓会 開催!!
二〇一九年 七月十三日(土)
会場：ホテルニューオオタニ

跡見純弘先生を偲んで



略歴

大正11年6月23日
文京区小石川で生まれる
昭和23年3月
慶應義塾大学経済学部を卒業
昭和29年7月 丸の内商事株式会社に入社
合併により三菱商事株式会社へと社名変更
昭和32年6月 跡見学園評議員就任(昭和62年6月23日まで)

お別れの詞

理事長 山崎 一穎



ご遺影を前にお別れの詞を述べるにあたって、私は二十年間一緒に仕事をし、薫陶を受けてまいりました。それ故に様々な思いが去来します。

先生は慶応大学経済学部を卒業後、三菱商事に入られ、鉄鋼部門一筋に三十九年間お勤めになりました。この間、サンフランシスコ支店を経て、アルゼンチン三菱商事の社長から本社の常務取締役へ就任され、昭和六十二年、六十五歳で跡見学園の第五代理事長に就任され、爾来三十年間跡見学園の運営にあたられました。

跡見学園に於ける先生のご功績を振り返り、感謝とお礼の詞を申し上げます。平成二年の学祖跡見花咲先生生誕五〇年の記念事業として、中学・高校の校舎の全面建替え、短期大学の体育館の新築、女子大学の図書館、学生寮の新築等二〇〇億近い計画を立案しました。資金調達の一部に寄附金を当て、自ら企業廻りをし、この大事業を成し遂げました。こ

昭和45年3月 米国三菱商社社サンフランシスコ支店勤務

昭和48年6月 アルゼンチン三菱商社社長に就任

昭和58年4月 三菱商事株式会社常務取締役就任

昭和62年6月 三菱商事株式会社退社

平成21年9月 跡見学園理事退任

平成29年7月12日 永眠(享年95)

それが功績の第二です。

次に二十一世紀を生きるにふさわしい女性の育成をめざして社会科学系の学部構想のプロジェクトチームを発足させ、平成十四年に女子大学にマネジメント学部を発足させたことが功績の第二です。

さらに平成十九年短期大学を閉学し、短期大学の資源を以て、女子大学に新しい学科を誕生させました。こうして新学部新学科設置等により、小規模校から中規模校へと量的に拡大し、財務の安定をはかつたことが功績の第三です。

先生を長兄に譬えれば、吉田事務局長は次兄で、末子で三男が私です。三男坊は少々我儘者で、性急で乱暴な意見を吐き長兄を煩わすこと多々ありました。その度に「あせるな、気運のない所では空回りするだけだ」と言われるので、「待っていては気運など出来ませんよ」と逆らうと、それを創るのが理事長の仕事だと言ひ、少しづつ状況を動かし、責任感と実行力のある頼りになる長兄でした。

お別れに臨んで、先生から学んだことを肝に銘じ、理事長として建学の精神を継承し、社会に貢献する女性の育成のために教育環境の層の整備に努めます。長い間ありがとうございました。安らかにお休み下さい。合掌。

平成二十九年九月二十四日

跡見純弘先生のご功績

校友会会長

山下 陽枝



跡見学園の顧問で前理事長の跡見純弘先生のご逝去に対し、校友会を代表して謹んでお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

卒業生として、跡見先生の学園発展のためのご功績は、たくさん存知あげております。平成二十年の跡見学園女子大学文京キャンパスのオープン、跡見先生なしでは、語れないものだと思います。学生は、文京キャンパスができたことで、一・二年次は、自律的な学習習慣を身につけるため、緑あふれる静かな新座キャンパスで、自立の準備が始まる三・四年次は、都心の文京キャンパスで送ることが可能になって、目的を明確に切り替えることができるようになりました。

校友会にとつて忘れてはならないのは、校友メールマガジン「あとみネット」の開始があります。校友相互や校友と学園との、より緊密なコミュニケーションの実現をめざし平成十二年に創刊されたものです。現在、校友会は、会員が約六万人を数え、本部のある東京だけでなく、各都道府県においても支部会を発足させて跡見の伝統を、引き継ぐとともに様々な活動を行っておりますが、この「あとみネット」はそのネットワークの中核となっております。

跡見先生のご功績をあげたらきりがなくなりませんが、そのご功績には心から敬意を表しております。どうぞ安らかに眠りくださいませ。